

# 宮崎県感染症週報

宮崎県感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

## 令和5年第30週の発生動向

### □ 全数報告の感染症 (30週までに新たに届出のあったもの)

- 1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 3 例。
- 3 類感染症：報告なし。4 類感染症：報告なし。5 類感染症：梅毒 4 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	40歳代	女	無症状病原体保有者	なし
			60歳代	男	結核性胸膜炎	右胸水貯留
			90歳代	女	肺結核及び粟粒結核	咳、痰、発熱、呼吸困難、意識消失
5類	梅毒	宮崎市	20歳代	男	早期顕症梅毒Ⅱ期	丘疹性梅毒疹
			20歳代	女	早期顕症梅毒Ⅰ期	初期硬結、鼠径部リンパ節腫脹
			20歳代	女	無症状病原体保有者	なし
		都城	50歳代	男	早期顕症梅毒Ⅱ期	梅毒性バラ疹

### □ 定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は 2,662 人(定点当たり 52.3)で、前週比 108%と増加した。なお、前週に比べ増加した主な疾患は新型コロナウイルス感染症、RSウイルス感染症、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎及び感染性胃腸炎で、減少した主な疾患はインフルエンザと咽頭結膜熱であった。

#### ★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

##### 【新型コロナウイルス感染症】

報告数は 1,578 人(27.2)で、前週比 111%と増加した。延岡(46.4)、高千穂(37.5)、都城(30.3)保健所からの報告が多く、年齢群別は別グラフに示す。

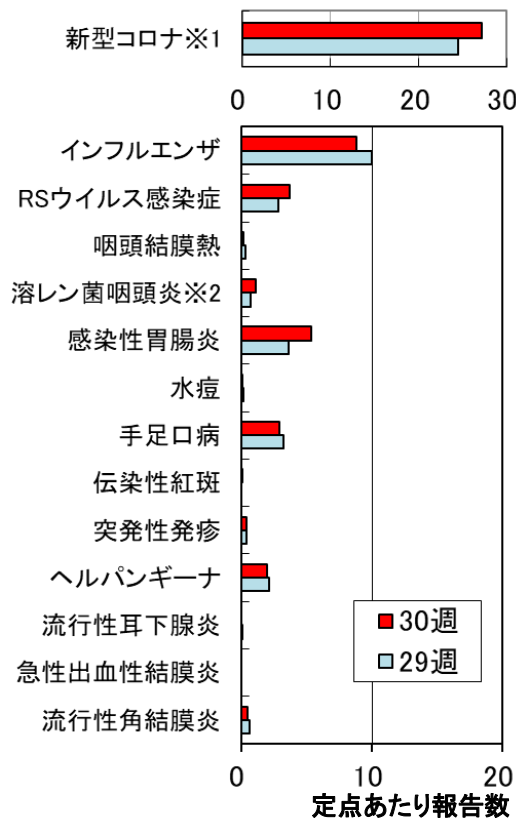
##### 【インフルエンザ】

報告数は 513 人(8.8)で、前週比 89%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値\*(0.07)の約 135.4 倍であった。日南(14.8)、宮崎市(12.1)、都城(11.6)保健所からの報告が多く、年齢群別は別グラフに示す。

##### 【RSウイルス感染症】

報告数は 133 人(3.7)で、前週比 129%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値\*(1.7)の約 2.2 倍であった。都城(5.3)、日南(4.7)、宮崎市(4.1)保健所からの報告が多く、年齢群別は 2 歳以下が全体の約 8 割を占めた。

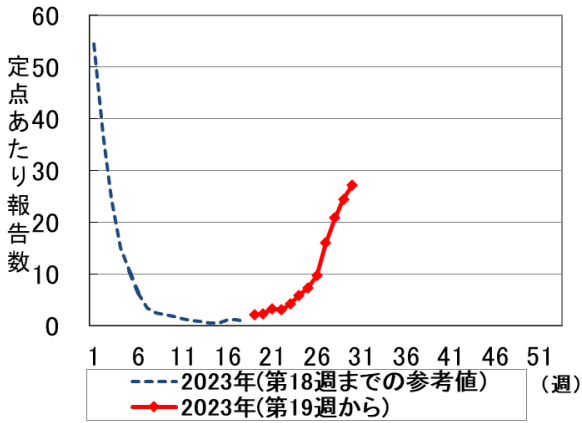
《前週との比較》



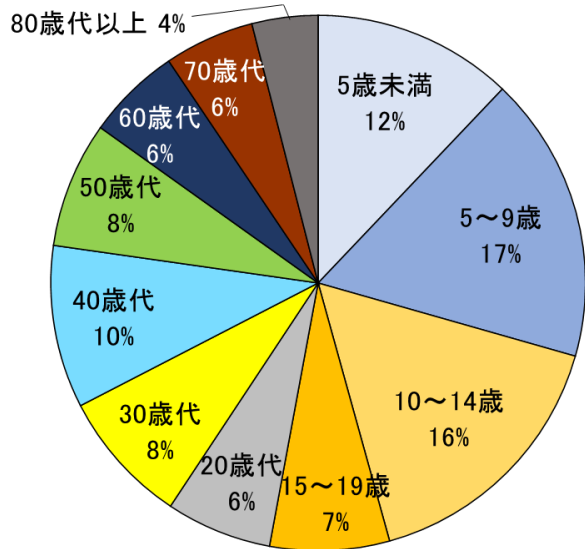
※1 新型コロナウイルス感染症  
 ※2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

\* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

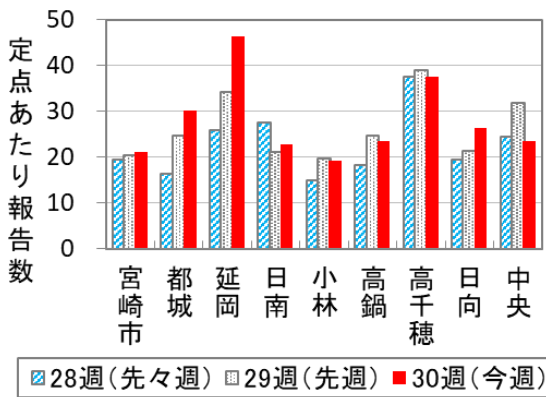
新型コロナウイルス感染症 発生状況



新型コロナウイルス感染症年齢群別グラフ(第30週)

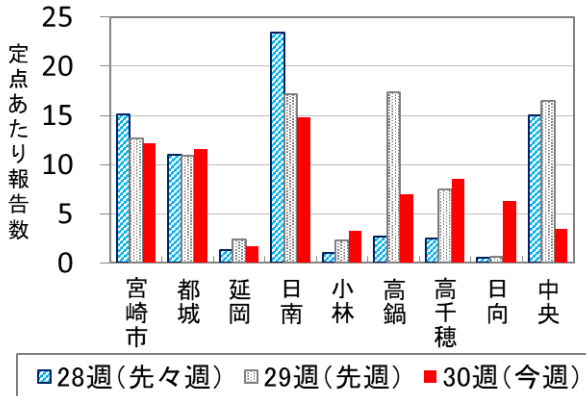


新型コロナウイルス感染症 保健所別推移(3週分)

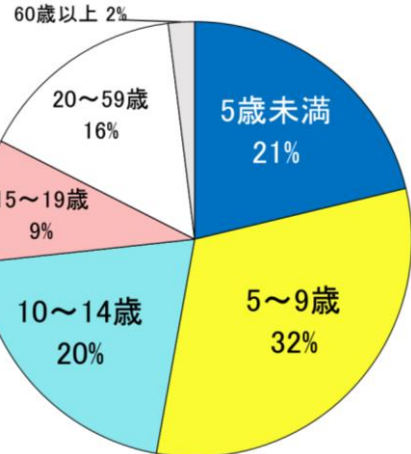


※新型コロナウイルス感染症の第1週~第18週分のデータは、定点医療機関からの報告数をもとに算出した参考値

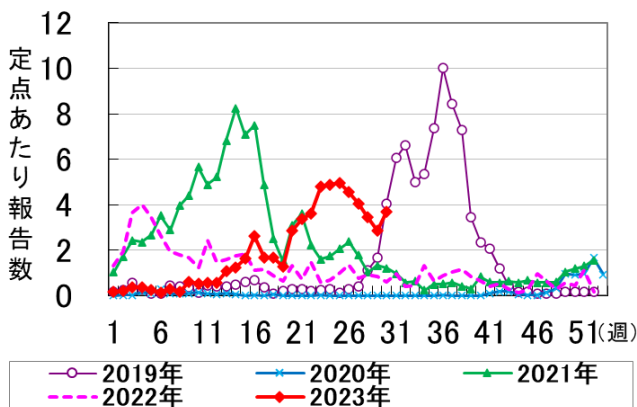
インフルエンザ 保健所別推移(3週分)



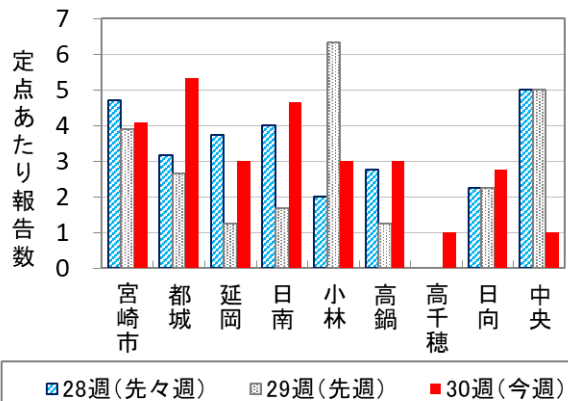
インフルエンザ年齢群別グラフ(第30週)



RSウイルス感染症 発生状況



RSウイルス感染症 保健所別推移(3週分)



★基幹定点からの報告★ なし

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	インフルエンザ(12.1)
都城	インフルエンザ(11.6)
延岡	手足口病(8.8)
日南	インフルエンザ(14.8)
小林	なし
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	手足口病(9.0)
中央	なし

\* 流行警報レベル開始基準値 \*

・手足口病(5)

\* 流行注意報レベル基準値 \*

・インフルエンザ(10)

□病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部 令和5年7月31日までに検出）

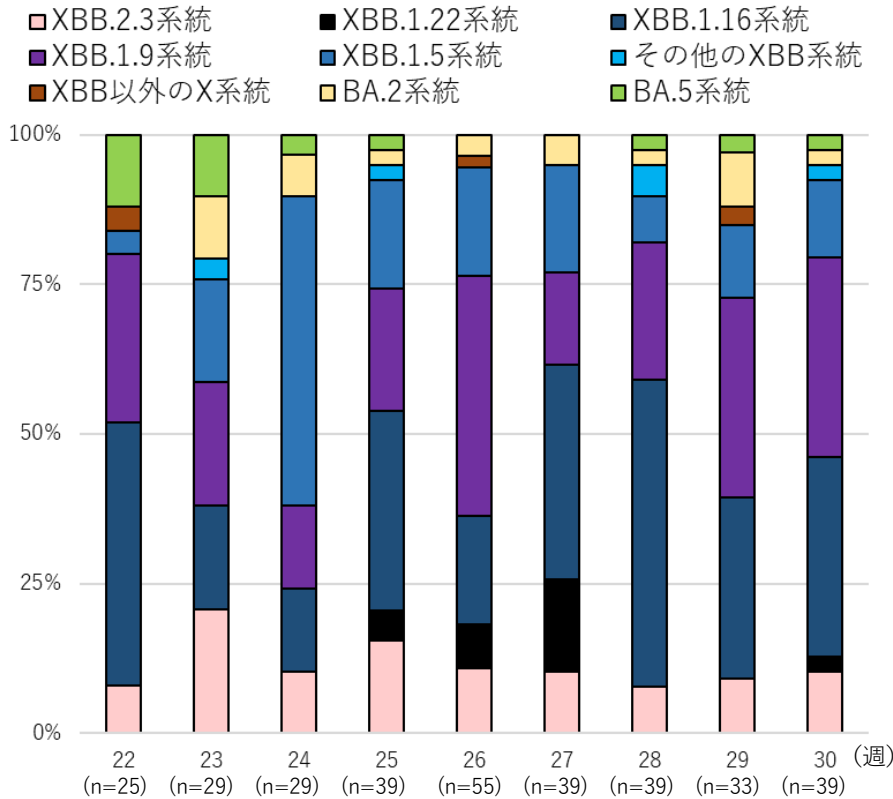
★細菌 なし

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取年月日	臨床症状等	検出材料	分離・検出日
Rhino virus	5～9歳	男	2023.04.27	無菌性髄膜炎疑い、発熱、頸部硬直、意識障害、胃腸炎(下痢、水様便)、嘔気	咽頭ぬぐい液	2023.07.27
Coxsackievirus A10	0～4歳	女	2023.05.22	エンテロウイルス疑い、39.0℃、発疹	咽頭ぬぐい液	2023.07.31
Rhino virus	0～4歳	女	2023.05.23	エコーウイルス疑い、38.2℃、発疹	咽頭ぬぐい液	2023.07.31
Rhino virus	0～4歳	男	2023.05.29	急性気管支炎、39.6℃	鼻汁	2023.07.31
SARS-CoV-2	10歳代	女	2023.06.05	COVID-19感染症、38℃、上気道炎(咽頭炎)	鼻汁	2023.07.20
Influenza virus AH3	10歳代	女	2023.06.15	A型インフルエンザ、39.1℃、気管支炎	咽頭ぬぐい液	2023.07.20
Influenza virus AH3	40歳代	男	2023.06.19	A型インフルエンザ、38.3℃、咽頭痛、咳、倦怠感	鼻咽頭ぬぐい液	2023.07.20
Influenza virus AH3	40歳代	女	2023.06.27	A型インフルエンザ、39.3℃、上気道炎(咽頭痛)、咳、鼻水、倦怠感	鼻咽頭ぬぐい液	2023.07.20
SARS-CoV-2	10歳代	男	2023.07.03	COVID-19感染症、40.0℃、上気道炎(咽頭痛)	鼻汁	2023.07.20
SARS-CoV-2	10歳代	女	2023.07.10	COVID-19感染症、39.0℃、上気道炎(咽頭痛)、下気道炎(気管支炎)	鼻汁	2023.07.20

## □新型コロナウイルスゲノム解析結果情報（衛生環境研究所微生物部）

### 新型コロナウイルスゲノム解析週と検出系統



XBB 系統は第 30 週で約 95%を占め、XBB. 1. 9 系統と XBB. 1. 16 系統がそれぞれ約 33%を占めた。

「X」で始まる名前は遺伝子組換えで発生した系統に付けられる。

XBB は BJ. 1 (BA. 2. 10. 1 系統) / BM. 1. 1. 1 (BA. 2. 75. 3 系統) の組換え株である。

ゲノム解析は概ね前週の検体を用いて実施している。なお、解析検体数が多くない場合は割合の変動が大きくなる。

衛生環境研究所においては、県内医療機関の協力のもと、新型コロナウイルスの PCR 陽性となった検体を毎週収集し、ゲノム解析を実施している。

## 🇯🇵 全国 2023 年第 29 週の発生動向

### □ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	221 例				
3類感染症	細菌性赤痢	2 例	腸管出血性大腸菌感染症	100 例	腸チフス	1 例
	E型肝炎	7 例	A型肝炎	2 例	エキノкокクス症	1 例
4類感染症	エムポックス	1 例	オウム病	1 例	重症熱性血小板減少症候群	6 例
	デング熱	5 例	日本紅斑熱	11 例	ライム病	3 例
	レジオネラ症	55 例				
5類感染症	アメーバ赤痢	8 例	ウイルス性肝炎	1 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	21 例
	急性脳炎	8 例	クリプトスポリジウム症	1 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	10 例
	後天性免疫不全症候群	10 例	ジアルジア症	1 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	15 例
	侵襲性肺炎球菌感染症	25 例	水痘(入院例)	5 例	梅毒	179 例
	播種性クリプトкокクス症	1 例	破傷風	2 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	2 例
	百日咳	27 例	薬剤耐性アシネトバクター感染症	1 例		

## □ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比96%とほぼ横ばいであった。なお、前週と比較して増加した主な疾患は新型コロナウイルス感染症と水痘で、減少した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、ヘルパンギーナ及び流行性耳下腺炎であった。

インフルエンザの報告数は7,847人(1.6)で前週比90%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値\*(0.05)の約29.1倍であった。鹿児島県(18.7)、宮崎県(9.98)、熊本県(7.5)からの報告が多く、年齢群別では15歳未満が全体の約8割を占めた。

新型コロナウイルス感染症の報告数は68,601人(13.9)で前週比126%と増加した。佐賀県(27.4)、宮崎県(24.5)、長崎県(22.9)からの報告が多く、年齢群別では20歳未満が全体の約4割を占めた。

\* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

宮崎県 感染症情報

(71定点医療機関)

2023年 第30週(07月24日～07月30日)

疾病名		第29週	第30週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	579	513	194	116	12	74	13	42	17	38	7
	定点当り	9.98	8.84	12.13	11.60	1.71	14.80	3.25	7.00	8.50	6.33	3.50
新型コロナウイルス感染症	報告数	1419	1578	338	303	325	114	77	141	75	158	47
	定点当り	24.47	27.21	21.13	30.30	46.43	22.80	19.25	23.50	37.50	26.33	23.50
RSウイルス感染症	報告数	103	133	41	32	12	14	9	12	1	11	1
	定点当り	2.86	3.69	4.10	5.33	3.00	4.67	3.00	3.00	1.00	2.75	1.00
咽頭結膜熱	報告数	12	7	5	2							
	定点当り	0.33	0.19	0.50	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	26	40	13	5	4	3	1	6		8	
	定点当り	0.72	1.11	1.30	0.83	1.00	1.00	0.33	1.50	0.00	2.00	0.00
感染性胃腸炎	報告数	129	192	48	30	3	29	37	6	1	20	18
	定点当り	3.58	5.33	4.80	5.00	0.75	9.67	12.33	1.50	1.00	5.00	18.00
水痘	報告数	7	4	2		2						
	定点当り	0.19	0.11	0.20	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	115	106	17	3	35	4	1	10		36	
	定点当り	3.19	2.94	1.70	0.50	8.75	1.33	0.33	2.50	0.00	9.00	0.00
伝染性紅斑	報告数		1	1								
	定点当り	0.00	0.03	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	13	15	3	6	4		1			1	
	定点当り	0.36	0.42	0.30	1.00	1.00	0.00	0.33	0.00	0.00	0.25	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	77	70	10	6	11	5	11		3	23	1
	定点当り	2.14	1.94	1.00	1.00	2.75	1.67	3.67	0.00	3.00	5.75	1.00
流行性耳下腺炎	報告数	2										
	定点当り	0.06	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	4	3	3								
	定点当り	0.67	0.50	1.00	0.00	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点:58、小児科定点:36(インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2023年 第1週～30週保健所受理分)

2類感染症	結核	67例(3)		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	7例	腸チフス	1例
4類感染症	重症熱性血小板減少症候群	10例	つつが虫病	10例
	レジオネラ症	2例		日本紅斑熱
5類感染症	アメーバ赤痢	2例	ウイルス性肝炎	5例
	急性弛緩性麻痺	1例	急性脳炎	3例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4例	後天性免疫不全症候群	4例
	侵襲性肺炎球菌感染症	9例	水痘(入院例)	2例
	播種性クリプトコックス症	3例	破傷風	1例
			カルバペネム耐性腸内細菌感染症	1例
			クロイツフェルト・ヤコブ病	3例
			侵襲性インフルエンザ菌感染症	2例
			梅毒	110例(4)
			百日咳	4例

( )内は今週届出分、再掲